



芦北町議会だより うたせ

第68号

令和4年
6月6日発行



復興元年+1 (プラスワン) 前進！令和2年7月豪雨災害の復旧・復興事業 田川地区の治山工事(国直轄事業) 5月23日撮影

- 臨時議会……………P2～3
- 3月定例議会(概要)……………P4～5
- 議員在職50年表彰(名誉町村議会議員)……………P6
- ロシアに対する非難決議・ウクライナへの救援金……………P7
- 3月定例議会(審議結果)……………P8
- 各常任委員長報告(令和4年度当初予算審査結果)……………P9～12
- 一般質問……………P13～15
- 議会のうごき・ちょっといっぷく……………P16

初議会

4月6日に臨時議会（選挙後の初議会）を開催し、議長に宮内道則氏、副議長に岡部恵美子氏を選出するとともに、各常任委員、議会運営委員、議会広報委員及び監査委員を選任しました。

また、芦北町税条例等及び芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分を承認しました。

議長に 宮内道則氏 副議長に 岡部恵美子氏 監査委員(長口隆氏)と委員構成も決まる！

③ 総務厚生委員
議会運営委員

② 湯浦
① 5回



おかべ えみこ
岡部 恵美子

副議長

② 白岩
① 5回



みやうち みちのり
宮内 道則

議長

4月の初議会において、第
六代芦北町議会議長に就任
いたしました。誠に光栄である
とともに、その責務の重大さ
を感じ身の引きしまる思い
です。

議員各位のお力添えをいた
だきながら、全身全霊を傾け
て芦北町、そして議会発展の
ために働いて参る決意でござ
います。

町の最重要課題である令和
2年7月豪雨による災害復
旧・復興事業については、町
執行部をはじめ関係機関等と
連携し、一日も早い町民生活
の安定に力を尽くします。

また、青少年育成、福祉及
び産業振興などに対しても、
多くの意見を聞きながら議会
運営を進めて参ります。

結びに、町民の皆様は今後
とも変わらぬ議会へのご理解
とご協力をお願い申し上げ、
就任のあいさつといたしま
す。

議長就任
あいさつ

委員会構成		議会運営委員会	総務厚生常任委員会	建設経済文教常任委員会	議会広報委員会
	委員長	元 山 秀 志	林 田 耀 宏	草 野 安 道	楠 原 清 照
	副委員長	林 田 耀 宏	楠 原 清 照	白 坂 康 浩	長 口 隆
	委員	岡 部 恵美子	岡 部 恵美子	寺 本 修 一	川 尻 成 美
	委員	草 野 安 道	川 尻 成 美	宮 尾 秀 行	宮 尾 秀 行
	委員	楠 原 清 照	元 山 秀 志	寺 本 順 一	寺 本 順 一
	委員		百 田 翔 吾	坂 本 登	林 田 耀 宏
	委員			長 口 隆	

町議会議員を紹介します

① 当選回数 ② 地区名 ③ 所属委員会



もと やま しゅう じ
元山 秀 志

① 5 回 ② 小田浦
③ 議会運営委員長
総務厚生委員



みや お ひで ゆき
宮尾 秀 行

① 5 回 ② 田浦
③ 建設経済文教委員
議会広報委員



かわ しり なる み
川尻 成 美

① 5 回 ② 女島
③ 総務厚生委員
議会広報委員



てら もと しゅう いち
寺本 修 一

① 5 回 ② 田浦
③ 建設経済文教委員



さか もと のぼる
坂本 登

① 4 回 ② 花岡
③ 建設経済文教委員



てら もと じゅん いち
寺本 順 一

① 5 回 ② 田浦町
③ 建設経済文教委員
議会広報委員



しら さか やす ひろ
白坂 康 浩

① 5 回 ② 花岡
③ 建設経済文教副委員長



くさ の やす みち
草野 安 道

① 5 回 ② 大野
③ 建設経済文教委員
長、議会運営委員



もも た しょう ご
百田 翔 吾

① 1 回 ② 井牟田
③ 総務厚生委員



くす はら きよ てる
楠原 清 照

① 2 回 ② 佐敷
③ 議会広報委員長
総務厚生副委員長
議会運営委員



ちよう ぐち たかし
長口 隆

① 2 回 ② 丸山
③ 議会広報副委員長
建設経済文教委員
※監査委員



はやし だ よう こう
林田 耀 宏

① 3 回 ② 湯浦
③ 総務厚生委員長
議会運営副委員長
議会広報委員

3月定例議会



3月定例議会は、3月4日に招集され、15日までの12日間の会期で開催されました。

上程された議案は、令和4年度当初予算をはじめ令和3年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、芦北町消防団条例などの一部改正及び議員発議による「ロシアによるウクライナへの侵攻に対する決議」を含めた合計26件あり、全て原案のとおり可決しました。

3月14日には一般質問が行われ、3名の議員が登壇し、情報公開やふるさと納税、芦北町復旧・復興計画、新型コロナウイルスのワクチン接種と感染症対策など幅広い分野について、執行部の考えを問いました。

町長の施政方針と予算大綱(要約)

はじめに

豪雨災害からの復旧・復興に向け、早期に「芦北町復旧復興計画」を策定し、スピード感を持って各種事業に取り組んでまいりました。生活再建、道路や河川等の災害復旧も進み、少しずつではありませんが日常を取り戻しております。

令和4年度予算は、災害からの復旧・復興を加速化させるため、「復興元年^{フラッシュ}+1」として位置づけ、必要な予算を積極的に措置しました。

新型コロナウイルス感染症対策については、町内医療機関の協力を得ながら順調にワクチン接種を進めると共に飲食店をはじめとする店舗等の窮状に対し、数々の支援策を講じてきたところです。

国は「新しい資本主義」の

実現を経済再生の要と位置付け、成長戦略にデジタル田園都市国家構想を掲げており、本町においても国の動向を注視しながら、復旧・復興を第一に、必要な対策について

根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態の中、世界的な感染症の流行、大規模・激甚化する自然災害、本格的なデジタル社会の到来など、近年にない社会変革を迎えています。不安と期待が交錯する渦中であって、光り輝く郷土・芦北町を築くべく「すべては次代を担う子供たちのために」全力を傾注してまいります。

結びに

東欧における武力を伴った現状変更により、国際秩序の

◎予算大綱(5本の柱)

- ① 地域活力と雇用を生み出す産業づくり
『経済・産業』
- ② 地域で守り育てるまちづくり『健康・福祉』
- ③ 郷土の未来を育む人づくり『教育・文化』
- ④ 暮らしを支える基盤づくり『基盤整備』
- ⑤ 住民と行政の協働のまちづくり
『地域づくり・行財政』

令和4年度 当初予算を可決 193億7,540万円

会 計 名		予 算 額	増 減 率
一 般 会 計		122億5,500万円	△12.5%
特 別 会 計	国 民 保 険 事 業	34億2,240万円	14.4%
	介 護 保 険 事 業	24億3,100万円	1.5%
	農 業 集 落 排 水 事 業	4億 300万円	1.8%
	生 活 排 水 処 理 事 業	5,400万円	△11.5%
	町 有 温 泉 事 業	1億2,600万円	3.3%
	奨 学 資 金 貸 付 事 業	2,700万円	△27.0%
	後期高齢者医療事業	3億2,400万円	5.5%
水 道 事 業（公営企業会計）		3億3,300万円	△4.9%
合 計		193億7,540万円	△6.2%

令和3年度 3月補正予算を可決 6億6,722万円を追加

（金額は1万円未満を四捨五入）

会 計 名		補 正 額	補 正 後 の 総 額
一 般 会 計		5億9,638万円	172億7,898万円
特 別 会 計	介 護 保 険 事 業	8,351万円	25億 961万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	123万円	4億 168万円
	町 有 温 泉 事 業	520万円	1億2,785万円
	後期高齢者医療事業	△1,910万円	2億8,893万円
今回補正がなかった会計（国民健康保険事業外）			34億 495万円
合 計			240億1,200万円

主な事業 ◎一般会計

減債基金積立事業	2億7,342万円
災害救助費負担金精算事業	2億6,065万円
町道川嶽線国直轄事業	2,477万円
地域優良賃貸住宅建設事業	1,478万円
営業時間短縮要請協力事業	352万円
有害鳥獣被害防止対策事業	330万円

女性議員として全国初 岡部議員に「名誉町村議会議員」の称号を授与

全国町村議会議長会では、平成14年度から町村議会議員として50年以上在職し功労のあった議員に対し、名誉町村議会議員の称号を与えて表彰するとともに、本会の役員室に写真を掲額し、その栄誉を讃えています。

(現在29人)

岡部議員は、昭和46年に初当選され、これまでに50年以上にわたり、教育・福祉・産業振興など町行政全般の充実と発展に尽力された功績が高く評価され、女性議員としては全国で初めて名誉町村議会議員の称号が授与されました。

なお、岡部議員は、今回の表彰を受けられて「このような有難い表彰を受けられたのは、町民の皆様をはじめ多くの方々の御理解と御支援のおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。」と満面の笑みで喜びを実感されていました。



岡部恵美子 議員



古村逸男 前議員

全国町村議会議長会表彰(令和4年2月8日)

熊本県町村議会議長会表彰(令和4年2月22日)

議員在職15年以上

(単位:円)

項目	支出額	件数	内 容
特産品	10,560	4	町外からの訪問者等に対するPR用特産品
香 典	126,000	15	町の発展・振興に功績のあった人等に対する香料や生花代
会 費	5,000	1	円滑な議会運営に資する会議・研修等への参加に係る経費
見 舞	10,000	1	議会及び町政関係者の病気等の見舞いに係る経費
御 祝	16,500	1	記念行事・式典・祝賀会等に際しての祝いに係る経費
その他	5,125	2	上記の区分に掲げるもの以外で特に必要と認められる経費
合 計	173,185	24	

議会交際費は、議会活動を円滑に進めるため、外部との交際に要する経費です。支出については、社会通念上、妥当な範囲で必要最小限にとどめるよう配慮しています。

令和3年度
芦北町議会交際費の公表

「ロシアによるウクライナへの侵攻に対する決議」を可決！

ロシアによるウクライナへの侵攻に対する決議（原文）

令和4年（2022年）2月24日、ロシアはウクライナへの軍事攻撃を開始した。

このことは、国際秩序の根幹を揺るがすもので、明らかに領土保全や武力行使禁止を定めた国連憲章違反である。また、プーチン大統領は核兵器の使用を示唆する発言もしており、決して許容できないものである。

ロシア軍は、保育施設・学校・住宅・病院・商業施設・原子力発電施設など公共施設や民間施設を含め無差別的に攻撃している。これにより、多くの犠牲者が出ており、一刻も早く戦争を終わらせなければならず、ロシア軍が即時に無条件で撤退するよう、強く求める。

政府においては、唯一の被爆国として、核兵器による惨禍を再び繰り返さないよう国際社会と連携し、万全の対策を講じるとともに、ウクライナにおける現地在留邦人の確実な保護や我が国の経済に生じる影響への対策について、万全を尽くすべきである。

芦北町議会としては、日本国憲法の前文に「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」と記載があることなどを十分尊重し、ロシアによるウクライナへの侵攻に対して、厳重に抗議するとともに、強く非難する。

以上、決議する。

令和4年3月14日

熊本県芦北町議会

「ウクライナ人道危機救援金」を寄付！

芦北町議会は、上記の決議に伴い、ウクライナでの戦闘の被害者などに対し、何かしなくてはならないという議員の総意で、議員報酬の一部を救援金として寄付することを決定しました。

4月27日に宮内議長が、日本赤十字社熊本県支部を訪問し、三角事務局長に「ウクライナ人道危機救援金」として議員分14万円（議員1人当たり1万円）と議会事務局職員分1万円を合わせて15万円を贈呈しました。



（写真左から）宮内議長
日本赤十字社熊本県支部 三角事務局長

令和4年 第2回芦北町議会(3月定例議会)審議結果

区 分	議 案	内 容	審議結果
議案第2号	令和3年度芦北町一般会計補正予算(第7号)	概要等は、P 5に掲載	可 決
議案第3号	令和3年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		可 決
議案第4号	令和3年度芦北町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)		可 決
議案第5号	令和3年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算(第2号)		可 決
議案第6号	令和3年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)		可 決
議案第7号	令和4年度芦北町一般会計予算		可 決
議案第8号	令和4年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算		可 決
議案第9号	令和4年度芦北町介護保険事業特別会計予算		可 決
議案第10号	令和4年度芦北町農業集落排水事業特別会計予算		可 決
議案第11号	令和4年度芦北町生活排水処理事業特別会計予算		可 決
議案第12号	令和4年度芦北町有温泉事業特別会計予算		可 決
議案第13号	令和4年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算		可 決
議案第14号	令和4年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算		可 決
議案第15号	令和4年度芦北町水道事業会計予算		可 決
議案第16号	芦北町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	熊本県人事委員会勧告に基づく期末手当の減額改定 一般職：△0.15月再任用・特定任期付き職員：△0.1月	可 決
議案第17号	芦北町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	町の一般職の給与に関する条例の改正にあわせて、町長、副町長、教育長の期末手当：△0.1月とする減額改定	可 決
議案第18号	芦北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	町の一般職の給与に関する条例の改正にあわせて、議会議員の期末手当：△0.1月とする減額改定	可 決
議案第19号	芦北町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	職員及び非常勤職員の育児休業等の取得環境の充実を図るための改正	可 決
議案第20号	芦北町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴う改正	可 決
議案第21号	芦北町消防団条例の一部を改正する条例の制定について	団員定数の変更、休団制度の創設、報酬の改定に伴う改正	可 決
議案第22号	芦北町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	航空写真付字図等の交付を可能とするための改正	可 決
議案第23号	芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	地方税法の一部改正に伴う改正	可 決
議案第24号	芦北町立学校条例の一部を改正する条例の制定について	吉尾小学校の閉校及びこれまで休校となっていた分校等の廃校に伴う改正	可 決
議案第25号	芦北町体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	芦北町立学校条例の一部改正に伴う改正	可 決
議案第26号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	一部業務における加盟団体変更に伴う改正	可 決
発議第1号	ロシアによるウクライナへの侵攻に対する決議について	概要等は、P 7に掲載	可 決

総務常任委員長報告

令和4年度当初予算審査 白坂康浩

抜 粹



令和4年度の一般会計予算総額は、前年度比17億4,500万円減の122億5,500万円が計上されています。

特別会計は、7会計の合計で、前年度比4億7,810万円増の67億8,740万円

となっており、一般会計、特別会計及び水道事業会計を合わせた令和4年度の予算総額は、193億7,540万円となっています。

総務課

前年度比6,223万1千円増の16億3,177万5千円が予算計上されています。

主な事業として、防犯対策では、防犯灯及び防犯カメラの設置補助のほか、老朽危険空家の解体に対し補助を行う制度が創設され、防犯及び生活環境の改善が推進されます。



町補助事業を活用し設置が増加している【防犯カメラ】

また、防災対策では、避難場所の環境整備や各地域へ防災倉庫を設置するほか、防災士資格取得に対する補助や地域における防災資機材等の整備に係る補助を行い、地域防災力の向上が図られます。

【主な質疑】資格取得補助を行う防災士の役割について質疑があり、日本防災士機構により、認証される資格であり、地域の防災リーダーとして住民に対し、防災面での助

企画財政課

前年度比1億936万6千円増の16億593万9千円が予算計上されています。

主な事業として、ふるさと応援寄附金事業では、町内企業と連携し、地方創生と災害からの復旧・復興のため財源の確保に努められます。

また、豪雨災害に伴う空き地の活用促進等のため、賃貸住宅を建設する事業者、個人に対し補助を行う、民間賃貸住宅建設補助金が創設されています。

【主な質疑】空き地等に賃貸住宅を建設するための補助金2千万円の内容と、補助の期間及び内訳についての質疑があり、移住定住促進及び豪雨

災害の公費解体等による空地活用を目的として、床面積、各種設備などに一定の基準を設け補助するもので、現在、補助要綱を準備している。1戸当たり100万円を限度とし、20戸を想定しており、期間は令和6年度までの3年間を予定しているとの答弁がありました。

税務課

歳入予算は、前年度比3,597万6千円減の18億5,056万4千円が計上されています。歳出は、前年度比378万9千円増の1億3,969万1千円が計上されています。

主な事業として、地方税共通納税システムの対象税目が令和5年度から固定資産税と軽自動車税が追加されることから、これに伴うシステム改修が行われます。

【主な質疑】法人町民税の増額の要因について質疑あり、主要企業への聞き取りの結果、好況の影響により納税額の増が見込まれること、その

他の企業にも同じ傾向が見受けられることなどから歳入増を見込んだとの答弁がありました。

会計室

前年度比142万1千円増の559万1千円が予算計上されています。

会計管理費において、印刷製本費や指定金融機関職員派遣手数料などのほか、令和4年度より個人町民税の普通徴収、固定資産税、軽自動車税のコンビニ収納が開始されることに伴うコンビニ収納手数料が計上されています。

議会議務局

議員定数が16名から2名減の14名になることから、前年度比862万5千円減の1億1,028万1千円が予算計上されています。

議会費において、議員報酬、特別旅費、会議録作成委託料が、監査委員費において、監査委員報酬などが計上されています。

建設経済常任委員長報告

令和4年度当初予算審査 宮内道則

抜 粋



建設課

令和2年7月豪雨で被災した道路・河川の復旧を最優先とし、早期の復旧を図るための予算などが計上されています。また、町道の計画的な維持修繕や橋梁点検及び町道射場芦北線に関連した水路整備等が進められます。

排水対策事業としては、花岡地区、小田浦地区の排水路整備に関する実施設計及び基本設計並びに田浦地区、佐敷地区の排水解析も実施されます。

住宅の整備については、災害公営住宅を芦北地区に9戸、湯浦地区に12戸建設し、令和5年7月の入居を目指すとともに、子育て世代の移住定住を促進するため湯浦地区の地域優良賃貸住宅の設計と造成工事等の予算が計上されています。

歳出総額は、16億8,995万4千円で災害関係予算等の減により、前年度比49・5



町営住宅15戸(地域優良賃貸住宅)の建設場所【湯浦地区】

%の減となっています。

【主な質疑】災害の復旧・復興が最優先だと思うが、令和4年度の一般工事件数はどの質疑に対し、道路と河川工事を合わせて25件の一般工事を計画しているとの答弁がありました。

上下水道課

農業集落排水事業及び生活排水処理事業特別会計繰出金のほか、浄化槽設置整備事業において、合併浄化槽50基分の補助金が計上されています。歳出総額は1億7,476万3千円、前年度比14・7%の減となっています。

商工観光課

商工業振興では、町内での消費喚起と商工業者育成のプレミアム付商品券発行補助金や、コロナ禍及び豪雨災害により影響を受けている町内事業者の安定経営を支援するための災害時等特別資金利子補給補助金が計上されています。

企業誘致では、サテライトオフィス田浦の活用を図るとともに、サテライトオフィス計石のさらなる活性化及び企業誘致活動の強化を図るための地域活性化企業人募集などに取り組まれます。

観光振興では、「放課後いぼう日誌」を活用した事業、観光うたせ船の保存・活用のための観光うたせ船事業並びに観光協会を強化する取り組みが実施されます。

御立岬公園については、新キャンプ場の利便性を向上させるため、Wi-Fi整備、トイレ及び炊事場増設など、新たな公園施設整備を行うための予算が計上されています。

歳出総額は、6億1,010万3千円、前年度比8・5%の増となっています。

【主な質疑】御立岬公園のマリンハウスは、建設後25年以上経過しているが、老朽化対策はどの質疑に対し、マリンハウスについては、コロナ対策の交付金を活用し、カーテンやカーペット等を購入しており、畳や白蟻対策についても年次計画を立て、順次対策を行うとの答弁がありました。

農林水産課

令和2年7月豪雨からの復旧・復興を最優先課題とし、各種事業実施のための予算が計上されています。

農業振興では、新たに農作業の省力化と環境に配慮した生分解性マルチの資材費の助成や果樹の新規参入を促進するための樹園地型新規参入受入れ体制構築支援事業の補助等の取り組みが行われます。

鳥獣被害対策では、ICT等を活用した効率的な有害鳥獣対策の推進と地域おこし協力隊と猟友会が連携した新たな捕獲体制の構築に取り組み、狩猟免許取得支援等に関する予算が計上されています。

漁業振興では、海底耕うんを継続して実施し、漁場の環境改善への取り組みが行われます。また、漁業者の所得向上対策として、クマモト・オイスターやマガキ養殖への助成も継続して行われます。

歳出総額は、7億6,659万円となっており、災害関係予算等の減により、前年度比23・2%の減となっています。

【主な質疑】今後の有害鳥獣被害対策はどの質疑に対し、引き続き猟友会や関係団体などと連携し、効果的な対策については研究する中で積極的な提案していきたいとの答弁がありました。

農業集落排水事業 特別会計

芦北処理場の電気・機械設備の更新工事及び町内に6箇所ある農業集落排水施設に係る維持管理費などの予算が計上されており、歳出総額は、4億300万円、前年度比1・8%の増となっています。

生活排水処理事業 特別会計

町が管理する浄化槽からの適正な放流水の確保と効率的な維持管理が計画されており、歳出総額は5,400万円、前年度比11・5%の減となっています。

町有温泉事業特別会計

各施設において、快適な利用環境を確保するための予算が計上されており、歳出総額は、1億2,600万円、前年度比3・3%の増となっています。

【主な質疑】各施設の誘客対策はとの質疑に対し、湯浦及び計石温泉センターでは、接客や施設の維持管理により利用者の満足度を高めている。

ヘルシーパークでは、「放課後ていぼう日誌」のスタンプリーによる誘客を行っており、令和4年度からは、ヨガ教室を開催し、新たな利用者の獲得に努めるとの答弁がありました。

水道事業会計

水道の安定供給のため、水道事業長期計画に基づき、施設や管路の更新及び耐震化を重点的に行うとともに、令和5年度からの水道料金コンビニ二収納導入に向けた料金システム改修に係る予算などが計上されており、収益的支出と資本的支出を合わせた予算額は、3億3,300万円、前年度比4・9%の減となっています。

【主な質疑】老朽化した水道管の更新計画はどうなっているのかとの質疑に対し、水道管設置から40年以上経過した路線や漏水が多い路線など優先度の高い順から計画的に更新を行うとの答弁がありました。

文教厚生常任委員長報告 令和4年度当初予算審査 林田耀宏

福祉課

前年度比4,821万9千円減の25億4,936万6千円が計上されています。

児童福祉では、子ども医療費の無料化、保育園等を利用する3歳から5歳児までの副食費の無償化及び認定こども園等の施設整備への支援に取り組んでいくとの説明がありました。

【主な質疑】保育士の処遇改善はどうなっているのかとの質疑に対し、保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金のほか、保育士の経験年数等に応じて、職員手当の加算支給があり、保育士の処遇は年々改善されているとの答弁がありました。

住民生活課

前年度比5,129万2千円増の13億4,016万円が計上されています。

マイナンバーカード普及推

進等の事務処理に努めるとともに、水俣病関連事業に係る情報発信事業、もやい直し事業、地域再生事業に引き続き取り組んでいくとの説明がありました。

【主な質疑】ごみ処理対策支援事業のライスレジンについて説明をとの質疑に対し、試行的に可燃用のごみ袋1種類を作り、利用者や販売店などの意見を取りまとめて、次年



試作に取り組む【ライスレジン製 家庭用ごみ袋】※サンプル

度以降の取り組みに活かしていきたいとの答弁がありました。

健康増進課

前年度比581万6千円減の2億3,742万8千円が計上されています。

「芦北町健康づくり推進計画」に基づき各種事業を行っており、新型コロナウイルスワクチン接種事業は、追加接種及び小児のワクチン接種が主なもので、スムーズかつ安全に接種が実施できるよう準備を進めるとの説明がありました。

【主な質疑】予防接種事業について説明をとの質疑に対し、子どもの定期接種、任意接種となる風しん予防接種、インフルエンザ、大人を対象とした風しん抗体検査などあるが、子どもの定期接種分にかかる委託料が主なものであるとの答弁がありました。

抜 粋



教育課

前年度比1億3, 110万6千円増の5億9, 742万2千円が計上されています。

学校教育では、児童生徒の更なる学力向上のため、教育現場に精通した指導主事の配置、ICT機器の活用、ウェブ学習の推進を図るとともに、不登校対策支援員の配置や子ども自立支援室の運用など不登校対策に取り組むとの説明がありました。

【主な質疑】給食調理業務委託について、調理のみを委託することのだが、職員の配置や現施設の利用はとの質疑に対し、職員、栄養教諭の配置は現状の体制を維持し、管理業務や食材発注業務等、運営面についても同様であるとの答弁がありました。

スポーツ・文化振興課

前年度比1億7, 453万7千円減の5億3, 475万7千円が計上されています。

スポーツ振興では、競技力の向上と生涯スポーツの推進を図るとともに、11年ぶりに水

俣・芦北地域で開催される熊本県民体育祭の成功に向けて取り組んでいく。

文化振興では、九州大会以上の大会出場補助や、文化祭・文化講演会等を実施し、文化・芸術に触れる機会の提供と文化意識の高揚を図っていくとの説明がありました。

【主な質疑】トップアスリート合宿誘致事業の招聘団体はとの質疑に対し、空手道の東京オリンピッククメダリストや世界選手権大会の代表選手を計画しているとの答弁がありました。

コミュニティセンター課

前年度比424万5千円増の2億4, 189万2千円が計上されています。

2年目を迎えている芦北町総合コミュニティセンターでは、あらゆる世代が集い、交流し、町民一体となって子育てができ、魅力あふれる郷土を受け継いでいく次代を担う子どもたちを育む場所を目指していくとの説明がありました。

【主な質疑】地区公民館施設

整備支援事業の補助率はとの質疑に対し、消費税を抜いた事業費の1/2を補助するものであるとの答弁がありました。

国民健康保険事業 特別会計

事業勘定では、前年度比4億3, 200万円増の34億2, 000万円が計上されています。引き続き生活習慣病予防に重点を置いた特定健診等に取り組み、重症化防止に努めるとともに、18歳以下の子どもに係る保険税の均等割全額減免を引き続き行い、子育て世帯の支援を図るとの説明がありました。

直診断定では、前年度比90万円減の240万円が計上されています。診療所が被災し休診中のため、引き続き町内医療機関までの送迎を行い、受診できる体制づくりに努めていくとの説明がありました。

【主な質疑】吉尾温泉診療所は休診中だが、吉尾地区への往診を行っているのかとの質疑に対し、往診は町内の医療

機関が実施し、町は吉尾地区から町内医療機関への送迎を行っているとの答弁がありました。

介護保険事業 特別会計

前年度比3, 600万円増の24億3, 100万円が計上されています。

第8期芦北町老人保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、在宅医療・介護連携推進事業や認知症総合支援対策に取り組むとともに、介護予防にも重点を置き、介護予防や機能改善を重視する「自立支援・重度化防止」の充実に努めていくとの説明がありました。

【主な質疑】要介護（要支援）認定者の中で認知症が多いと聞くと、人数はどれくらいかとの質疑に対し、判断基準である認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱa以上の方は、663人で認定者の約4割であるとの答弁がありました。

奨学資金貸付事業 特別会計

前年度比1, 000万円減の2, 700万円が計上されています。

【主な質疑】奨学資金の貸付者数はとの質疑に対し、貸付者は47人で、うち新規分で高校生1名、大学生10名分を計上しているとの答弁がありました。

後期高齢者医療事業 特別会計

前年度比1, 700万円増の3億2, 400万円が計上されています。

引き続き、被保険者の健康保持・増進を図るとともに、疾病の早期発見と重症化の防止に努めていくとの説明がありました。

【主な質疑】医療機関での窓口負担が2割になる人は何人かとの質疑に対し、被保険者数4, 076人の中で、窓口負担が2割になる見込みは、266人の6・5%であるとの答弁がありました。



川尻成美 議員

一般質問(要約)

情報公開度のアップは どうする！

- 質** 情報公開条例の中で開示請求できる者は、町民でないとは出来ない。何人も開示請求できるようにしてはどうか。
- 答** 松本総務課長
総合的に運用を見直している。町交際費は、令和3年4月からホームページに毎月使用状況を公開している。開示請求の方法は、規則の内容を備えていれば、FAX・メールでの請求も可能である。議会会議録は、令和2年9月からホームページで閲覧可能となっている。
- 質** その後情報公開度アップに向けて、どのように具体的な改善策を取り組んだのか。
- 答** 竹崎町長
令和2年6月一般質問で、県内のオンブズマンによる情報公開度のアンケート調査結果、本町の情報公開度は県内全市町村中最下位であったので改善を求めた。町長の答弁は、情報公開条例制度制定から15年も経過しており、総括的に今の時代に沿うような形にしたらどうかという姿勢であった。

- 【一般質問後の情報】**
令和4年3月31日に「荒尾・市民オンブズマン」と「くまもと・市民オンブズマン」が調べた県内自治体の情報公開度ランキングが発表された。調査の基準日は、令和3年4月1日で熊本県と県内45市町村にアンケート調査を実施された。芦北町の情報公開度ランキングは、前回（令和元年度）最下位だったが、今回（令和3年度）の結果は、回答のあった45団体のうち13位となり、一般質問等を踏まえ、改善策を検討され、積極的に取り組まれている結果が現れてきた。
- 答** 竹崎町長
現行条例の運用で十分対応可能であると思っている。議会の総意として、どうしても変えるべきとあれば、議会で提案していただきたい。

- 計画的復旧・復興を望む**
- 質** 復興計画の住まい・生活再建支援の項目に災害公営住宅は計画されている。それ以外の被災者の住まいの確保はどうなっているのか。
- 答** 竹崎町長
災害により住宅を失われ、自ら住宅を確保することが困難な方に対して災害公営住宅の整備や女島仮設住宅の利用を視野に入れ、適切な住まいの確保を図っていく。
- 質** 復興計画の住まい・生活再建支援の項目に災害公営住宅は計画されている。それ以外の被災者の住まいの確保はどうなっているのか。
- 答** 池田福祉課長
女島仮設住宅やみなし仮設住宅などを利用された世帯は最大で195世帯であった。今年、2月までに住宅建設や購入、住宅の修理、民間賃貸住宅への入居及び長期避難の解除などにより49世帯が住まいの確保が出来、146世帯となった。その内131世帯は、住宅の建設や購入などが決められていて、15世帯が未だ決まってない状況である。15世帯に対しては、県の住まい対策室や地域支え合い

- 質** 創造的復興に向けた重点目標の項目に、水産業の事項が載っていないのは何故か。
- 答** 川尾企画財政課長
水産業の振興は計画に記載している。重点項目には全ての事項を記載してはいない。特に取組内容や進捗状況の情報共有が必要な事項を整理したものである。
- 質** 河川から流れた土砂・流木で藻場が全滅、流木で網が入れない状況は、現地を視察して知っておられる。計画を立てるべきではないか。
- 答** 佐竹農林水産課長
水産業の復旧はしっかりと進めていく考えである。海底耕うんやアマモ場の造成、浚渫、流木の撤去等、県に引き続き要望し改善を図って行く考えである。

一般質問(要約)

ふるさと納税はどうなっているのか！



楠原清照 議員

質

芦北町民のふるさと納税の現状はどうなっているのか。

(表1) ふるさと納税寄附額等(町に入ってくる分)

年 度	件 数	寄 附 額	備 考
平成20年度	7	82万円	ふるさと納税開始
平成28年度	5,169	8,072万円	平成28年度本格運用(平成27年度制度改正)
令和2年度	1万4,311	1億9,272万円	令和2年7月豪雨発生
令和3年度	—	約2億1,000万円	2月末現在

インターネット環境で寄附ができたため、寄附者の思いが届きやすかったと思われる。寄附額は表1のとおり。

答

川尾企画財政課長

質

令和2年7月豪雨復旧・復興には、ふるさと納税が大きく寄与したと考えるが、どのような役割を果たしたのか。

(表2) 芦北町民が他市町村などに行ったふるさと納税

年 度	件 数	寄 附 額	翌年度町民税控除額
令和元年度	100	693万1,500円	314万6,057円
令和2年度	105	1,128万2,000円	444万4,961円

(注) 町に入ってくる寄附額がはるかに多いことが本質問により判明した。

答

長崎税務課長

質

いるのか。

(表3)

小学6年生	
国 語	全国・県平均より上
算 数	全国・県平均程度
中学3年生	
国 語	全国・県平均より上
数 学	全国・県平均より上

今後、保育園等との連携や町全体で子どもたちの学びを支えていく地域力が重要である。令和3年5月に実施された、全国学力・学習状況調査の結果は表3のとおり。

答

岩田教育長

質

学力向上の取組状況と現状はどうなっているのか。

小・中学校の学力は

(表4) ※平成24年度以降選挙

	国政選挙	県知事選挙	町長・町議選挙
投票率	60～65%	56～64%	平成26年町議選 79.72% 平成30年町議選 76.17% 令和2年町長・町議補欠選 71.54%
選挙回数	6回	3回	—

(表5) 令和2年12月町長・町議補欠選挙年代別投票率等

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90上
有権者数(人)	228	838	1,239	1,524	1,945	2,959	2,732	2,241	756
投票率(%)	56.58	50.00	63	69	77	85	84	65	27
備考	※小数点以下四捨五入								

答

松本総務課長(選管書記長)

質

各種選挙の投票率等はどうなっているのか。

政治意識の向上を

選挙啓発活動等に取り組んでいるが、通減傾向にある。投票率の傾向は表4・表5のとおり。



坂本 登 議員

一般質問(要約)

除草剤2・4・5T埋設問題は どうする！

質

NHKのテレビ放送で、除草剤2・4・5Tが芦北町(国有林内)に埋設してあることが報道されたため、町民の中に不安が広がっている。国は、どのような経緯で埋設したのか。

答

竹崎町長

2・4・5T系除草剤は、全国42市町村の国有林に埋設されており、本年2月17日の衆議院予算委員会分科会でも取り上げられていることは承知している。

答

福井住民生活課長

質問の除草剤は、2・4・5T系除草剤、2・4・5トリクロロフェノキシ酢酸と言われているもので、国有林の除草剤として使用されていたものである。ダイオキシンを含んでいたことから、国有林での散布が中止され、昭和46年11月、国見国有林内に埋設処分されたものである。
当時の技術では、無害化処理することができず、地下に埋設して厳重に管理するしか方法がなかったと聞いている。

質

国に対し町として正式に文書で埋設してある除草剤の撤去を要請すべきと考えるが如何か。

答

福井住民生活課長

町としては、これまでも埋設物の撤去を要請してきているが、令和4年2月24日付けで改めて林野庁長官あてに除草剤撤去の要望書を提出している。



除草剤2・4・5Tの埋設状況(国見国有林)

【一般質問後の情報】

令和4年4月18日に林野庁九州森林管理局は、芦北町の国有林に埋設された除草剤2・4・5Tを撤去する方針を明らかにしました。
除草剤の撤去時期は、「できるだけ早く」となっていますが、着手時期などは未定です。

ロシアによるウクライナへの侵略についての考えは

質

日本国憲法前文に照らし、ロシアのプーチン政権によるウクライナへの軍事侵略について町長の認識は如何か。また、芦北町として何かできる具体的な行動を示す考えはないか。

答

竹崎町長

ウクライナの主権、領土を侵害する明確な国際法違反で、断じて容認できるものではないと認識している。

町としての具体的な行動に関しては、自治体で構成する団体など、一定の塊のなかで、日本政府に対し、ウクライナへの主権侵害に抗議し、即時撤退を求めるとともに、国際社会と連携した制裁措置の対応などを強く訴えていくべきと考えている。

なお、人道支援の観点から職員による募金、町内公共施設への募金箱設置は、すでに行っている。

質

プーチン大統領は、ロシアに軍事攻撃があれば核兵器の使用を示唆し威嚇した。この言動に対し、日本国憲法、特に憲法第9条及び非核3原則を擁護する義務を負う地方公共団体の町長としての見解は如何か。

答

竹崎町長

誠にもって言語道断であり、許されることではない。これらを総括し、2月25日に全国町村会から要望書を提出していると聞いている。

質

国に対して、核兵器禁止条約に批准、承認するように要請してほしいが如何か。

答

竹崎町長

様々な組織団体から政府に要望はなされているようであるが、なぜそうなのかということも含め、検証させていたきたいと思う。

：議会のうごき：

- 3月 4日 3月定例議会(議案審議)
 7日 建設経済常任委員会・文教厚生常任委員会
 8日 総務常任委員会
 9日 建設経済常任委員会・文教厚生常任委員会
 14日 3月定例議会(一般質問)
 15日 3月定例議会(議案審議)
 18日 水俣芦北広域行政事務組合議会定例会
 27日 芦北町議会議員一般選挙
 4月 6日 臨時議会(改選後の初議会)
 13日 熊本県民体育祭水俣市・葦北郡大会実行委員会総会
 20日 議会広報委員会
 27日 ウクライナ人道危機救援金の贈呈(日本赤十字社熊本県支部)
 5月 19日 熊本県町村議会議長会(議長研修会・臨時総会)
 20日 南九州西回り自動車道熊本県建設促進期成会総会
 23日 水俣・芦北地域振興財団理事会
 24日 議会広報委員会
 26日 総務厚生常任委員会
 30日 全国町村議会議長会(議長・副議長研修会)(東京都)
 31日 熊本県町村議会議長会(県関係国会議員への要望)(東京都)

次の議会は6月中旬の
 予定です!!

新メンバーで 頑張ります

芦北町議会議員の改選により、4月から議会広報委員会(定数6人)も新メンバーになりました。

議会の活動や審議内容等をお知らせするために、広報紙を1年に4回発行いたします。



議会広報委員会

			委 員	副 委員長	委 員長
//	//	//	川 尻 成 美 (前列右)	長 口 隆 (前列左)	楠 原 清 照 (前列中)
林 田 耀 宏 (後列右)	寺 本 順 一 (後列左)	宮 尾 秀 行 (後列中)			

議会の会議録は、芦北町ホームページに掲載しております。

また、広報紙以外の情報発信の検討も行いたいと思います。

議会だよりの編集方針は、「正確かつ公平公正を旨としつつ、町民の皆様に信頼され、興味をもって読んでいただける広報紙」とし、委員一同新たな気持ちで取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いします。

(楠原清照)

芦北町議会は、宮内新議長のもと新体制がスタートしました。

議会広報委員会は、二交代表制の本旨に基づき、議会は行政のチェック機能を十分果たしているのか、いかなる議論を行い行動しているのか、そしてその結果としてどのような成果を出しているのか、という視点を踏まえ活動してまいります。

